

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	デザイン史	2	3	デザイン	選択	デザイン史 電機大

### 1. 学習の到達目標

人間の造形作品は、時代・地域により特定のスタイルを持っている。各時代や地域に現れた独自の文化を学ぶことによって、造形様式の中に表されている社会の思想・世界観や美意識、さらに当時の生産技術の内容や造形素材に対する認識までも読み取り、これからの時代のデザインのあり方を考え、造形活動に生かすことができるようにする。

### 2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	デザイン史に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、広い視野に立って自己の属する国や地域で展開していった出来事を理解するとともに、自己の創作活動や技術の勉強に役立てることができる。	歴史的事象から課題を見出し、デザイン史成り立ちを歴史的な視野から多面的・多角的に考察し、現代の諸課題を歴史的な観点から追及し、自己の課題に役立てる。	教科書や資料を使って、うまくノートにまとめることができ、後の学習にやくだてることができる。同時にデザイン史についての知識を深く理解でき定着させることができる。	諸国の文明の発達とデザイン史の展開をわが国のデザイン史の展開との関係に留意しながら理解し、その知識を身につけている。
評価の方法	出席状況、授業態度、学習の取り組み状況、課題・宿題・ノートなどの提出物の状況、定期考査などを総合的に判断して評価します。			

### 3. 教科からのメッセージ

人間の造形物には作者の思想や感情が込められている。こうした造形の中にある人間の精神活動を文化と呼ぶならば、デザインの歴史は造形文化の歴史を中心とした営みだといえる。デザインの歴史を追っていくこと、ものに込められた感情を読み取る作業は知りたい欲求を十分に満たしてくれるものと考えよう。

### 3年 デザイン史 年間指導計画表

単位数（2単位） 教科書：デザイン史（東京電気大学出版局）

目標	造形とデザインの歴史を理解させ、実際に創造し鑑賞する能力と態度を育てる。		
月	大項目	中項目	時数
4	デザイン史における近代デザインの位置づけ	デザイン史を学ぶことの意義（理論）  近代デザインのはじまり  産業革命の影響とデザイン	6
5	アーツ・アンド・クラフツ運動	ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ運動	14
6	アール・ヌーヴォー	アール・ヌーヴォー	
7	近代デザインの成立と展開	科学技術の発達  近代美術の革新	10
9	近代デザイン運動の試み  バウハウス	デ・スタイル	24
10		ドイツ工作連盟	
11		バウハウス	
12		ニュー・バウハウス	
1	アール・デコ 現代のデザイン	アール・デコ	16
2		現代デザイン	